



環境リスクPress

2023年5月発行／VOL.42

アスベスト関連ニュース

トルコ大地震でアスベスト等環境被害の問題が発生中(2023/5)

2月の大地震で甚大な被害を受けたトルコ南では、現在もがれきの処理をめぐり問題が起きている。地震から3か月たった今も、壊れた建物がそのままであり、有害物質を出す建材が、避難者が住む場所の近くなどに一緒に投棄されている。律により、アスベストなどの有害物質を出す建材は分別され、住宅地から離れた場所に保管されなければいけません、すべて一緒に捨てられているという。国内だけでも21万棟以上の建物が倒壊もしくは大きく損傷しており、家を失った159万人余りが避難生活を送っていますが、仮設住宅が割り当てられたのは4万人余りとどまっています、ほとんどの被災者がテント暮らしを余儀なくされている。国連は倒壊した建物などをすべて取り壊した場合、最大で約2億1000万トンのがれきが発生すると推計している。

宮崎県 県立宮崎病院 アスベストによって工事価格2倍以上(2023/02)

県立宮崎病院は、老朽化に伴い施設を建て替えていて、当初、今年秋のグランドオープンを予定していたが、前の施設でアスベストの使用が見つかったことや、新しい施設への移転に時間がかかったことなどより、グランドオープンが再来年の夏ごろへとおよそ1年8か月遅れることになった。費用が当初の2倍以上にあたる390億円余りに膨らんだことから、県は、50億円の建設費用抑制に努める方針を示していましたが、工期の遅れにより縮減額は30億円程度にとどまると試算

さいたま市 建築物等の解体等工事における石綿飛散防止対策について HP更新(2023/04)

さいたま市は、「建築物等の解体等工事における石綿(アスベスト)飛散防止対策について」として、2月のパンフレット更新にともない、HPでの情報も更新した。*トップページ>暮らし・手続き>環境保全>石綿(アスベスト)>建築物等の解体等工事における石綿(アスベスト)飛散防止対策について

環境リスク関連ニュース

仙台市 公共工事4件について土壌汚染防止の届け出漏れ(2023/2)

仙台市が発注した公共工事4件で、土壌汚染を防ぐために必要な事前の届け出が漏れていたことが判明した。届け出漏れは、長町中学校の校舎解体工事や東長町小学校の校舎増築工事など、仙台市が2022年度に発注工事中4件。土壌汚染対策法では、50センチ以上掘削する等の土地の形質変更工事を一定の面積以上で実施する場合、土壌汚染の恐れを確認するため、着工前に都道府県知事などへの届け出を義務付けている。政令指定都市の仙台市は仙台市長に届け出の必要があり、担当職員が工事面積などの基準について認識が不足していた手続きが漏れていたとのこと。2022年11月に発生した民間工事の届け出漏れを受けて調査した結果、ミスが発覚した。また、長町中学校など4件の工事現場については、土壌汚染の恐れが無いことを確認したということである。

大阪市 新たにIR予定地の土壌対策費R5予算案修正(2023/3)

大阪市は3月1日、特別会計の令和5年度予算案の修正を発表した。カジノを中心とした統合型リゾート施設(IR)の大阪誘致を巡り、政府の認定判断が想定よりずれ込んでいるため、4年度に続き、予定地(人工島・夢洲)の土壌対策費788億円を債務負担行為として設定する。土壌汚染や液状化の対策、地中の障害物撤去費用に充てるとしている。

香川県 豊島の産廃投棄現場、県の整地作業が完了(2023/03)

大量の産業廃棄物が不法に投棄された豊島(香川県土庄町)で、2022年10月から行っていた現場の整地作業が3月10日に終了した。国の財政支援が受けられる期限である2022年度末(3月)を前に、県が進めてきた事業が区切りをつけたことになる。19年までに産廃約91.3万トン撤去し、県による産廃の撤去開始からの総事業費は約817億円。現場は引き続き県が管理し、自然浄化で地下水が環境基準を達成した後、住民に土地を引き渡す

過去の環境リスクPressはこちらから

環境リスク.COM

<https://www.kankyorisk.com>

【発行】 アスベックス株式会社

〒194-0023 東京都町田市旭町2-7-8

[TEL]042-726-0744

[FAX]042-726-0726